

MAGAZINE FOR FRENCH BULLDOG LOVERS

ブヒ

ブヒ
Vol.
07
D&A MOOK 220



人生で
フレンチブルドッグに
出会えた
強運なあなたへ

特集 うちのマスターピース

この子のいいもの

フレンチブルドッグ大好きショップがリコメンドする逸品たち♡コニーズ♡ふれんどブルドッグ♡いろはカタログ♡PARK♡grandefamile♡ROC♡FREBULLIAN?♡Frigo♡B*B DOG♡PetitCochon♡INMYLIFE potemkine♡ETRANGE♡BULLDOZER♡Mr.Mac♡BoBuuu!!!♡FRENCHBULLS.JP

しあわせ写真を撮るとのこと。

To take a happy photograph



「しつけ、トレーニングをすると、ストレスが溜まって可哀想なのでは？」

こういう心配は、多かれ少なかれあると思います。

今回は「犬のストレス」について少し考えてみます。

まず、犬達はストレスを感じた時、どのようなサインを送るでしょうか。

「カーミングシグナル」といって、何かの刺激によって心拍数が増え、緊張してきた時、つまりストレスがかかっていた時に、相手に対して、「落ち着いて」との意味と同時に自分の気持ちを落ち着けさせる意味も含めて出すサインです。

カーミングシグナルで代表的なのは、みなさんも存知かもしれませんが、「アクビをする」「地面の匂いを嗅ぐ」「首、身体を肢で掻く」「身体をブルブルと振る」。みなさんの愛犬はこれらの行動がどういう時に出ているのでしょうか？

愛犬の身体を触っている時、抱きしめている時に「アクビ」をしていますか？

他の犬が遠く前方から現れた時、突然道路の脇で地面の匂い嗅ぎをしていませんか？

家に来客があった時、嬉しくてお客様に飛びついて大歓迎した後に突然、身体を掻いたり、身体をブルブルと振ったりしていませんか？

これらのシチュエーションでカーミングシグナルが出るという事は、日常よくあるシチュエーションの中でも犬達は緊張や興奮で心拍数が増え、ストレスを受けているという事です。

カーミングシグナルとは別に、ストレスに対する反応として、「フケ」が出てくる時が多々あります。トレーニング中ももちろん、これらの反応が出てくる事はよくあります。

「ストレス」サインが出た時、私達飼い主はどうすれば、どうやって対応すれば良いのか考えてみましょう。

「動物は生きてゆくためにストレスは必要不可欠」とも言われています。

私達人間は、ストレス無く生活出来る事は可能でしょうか？

日常の些細なことで、イライラしてしまったり、大切な人と喧嘩をしまつたり、人間もストレスを抱えて生きている。

もちろん、過度なストレスは人間も動物も病気を誘発するかもしれません。しかし、多少なりとも生きてゆく上でストレスはかかるものだし、スト

レスなく生活する事は不可能に近いかもしれません。

当然ながら犬達も人間と同じように、人間と文化が違う分、私達よりもっとたくさんさんのストレスを日常感じています。

犬が他の犬とすれ違う、挨拶をする時も、嬉しい反面、実は、毎回緊張と興奮でかなりのストレスがかかっているのです。

「しつけ」「トレーニング」は犬にとってストレスになるかどうか。

答えは「YES」だと思います。犬達はとても繊細です。日常の些細な刺激にもストレスを感じています。

「犬にストレスをかけないトレーニング方法」ってあるのでしょうか？

例えば、犬に「オスワリ」を教える際に、犬のお尻を押して強制的に教える方法と、犬の身体には一切触れず、犬が出来るようになるまで待つてあげるトレーニング方法があります。

これは一見、強制的にお尻を押して「オスワリ」を教える方法が犬にストレスをかけると思われがちですが、犬が出来るようになるまで待つてあげるトレーニング方法でも、実は犬にストレスがかかっているのです。

犬は何を飼い主に何を求められているのか、自分で考えなくてはいけない


のですから、お尻を押されて答えを明確にされるよりも、より難しいのです。考える時には、ストレスがかかります。そのストレスが次の新しい行動「オスワリ」に辿りつくきっかけとなるのです。

どんな方法であれ、新しい事を教える時、ちょっとした環境の変化は、犬に対してストレスがかかるものです。

一番大切な事は、「ストレスをかけるように生活させるのではなく、多少のストレスに耐えられる「強さ」を教えること」これが一番の愛情ではないでしょうか。

TRAINING

そうだそうだ
トレーナーの
なおこさんに
訊いてみよう



005
BUHI TRAINING METHOD



川野 倭子

アメリカ、カリフォルニア州にてドッグトレーナーのライセンスを取得。フランス人とアメリカ人訓練士のもとで、軍用犬、警察犬の服従訓練や、問題犬の矯正を学ぶ。現在、カワノe-ドッグの専属ドッグトレーナー。

★株式会社カワノe-ドッグ

☎03-3630-6725 Fax 020-4623-6423 <http://www.k-e-dog.com/>

犬の権利が認められるには、飼い主が犬に対して義務を果たす。それが「しつけ」だという「しつけ先進国」フランス流の考え方。カフェでくつろぐ主と足元でゆったりと過ごす愛犬との心地よい距離感。そんな犬文化ごと輸入したドッグ・トレーニング・スクールです。